

< あなたの治療について >

血内-G-acalabru-CLL (3-7c)-q4w

今回の治療は、G-acalabru という治療法で、ガザイバ (G) という注射薬とカルケンスという内服薬で治療を行います。ガザイバとカルケンスは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。カルケンス錠は毎日服用します。また、各コースの1日目に点滴を行います。この治療を4週間(28日間)ごとに6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎1コース分の治療スケジュール

| | 薬剤商品名 (薬の作用) | 投与 | 1~28日目 |
|---|----------------------------------|----|---|
| ① | カルケンス (抗がん剤) 100mg × 2/day | 内服 |  |

| 順序 | 薬剤商品名 (薬の作用) | 投与 | 1日目 | 2-28日目 |
|----|--------------------------------------|---------------|---|--------|
| ① | アセトアミノフェン レスタミン (熱・アレルギーを抑える薬) | 内服 |  | お休み |
| ② | ガザイバ (抗がん剤) 1000mg/body | 点滴 約25mL/時 |  | |

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

カルケンスとガザイバによる

- インフュージョンリアクション ●好中球減少 ●感染症 ●発熱 ●悪心 ●疲労

◎特徴的な副作用について

カルケンスにおける

- 不整脈

「めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ、胸の不快感」などの症状

- 腫瘍崩壊症候群

「意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ」などの症状

- 間質性肺疾患

「咳、息切れ、息苦しい、発熱」などの症状

ガザイバにおける

- 間質性肺疾患

「発熱、から咳、息苦しい、息切れ」などの症状

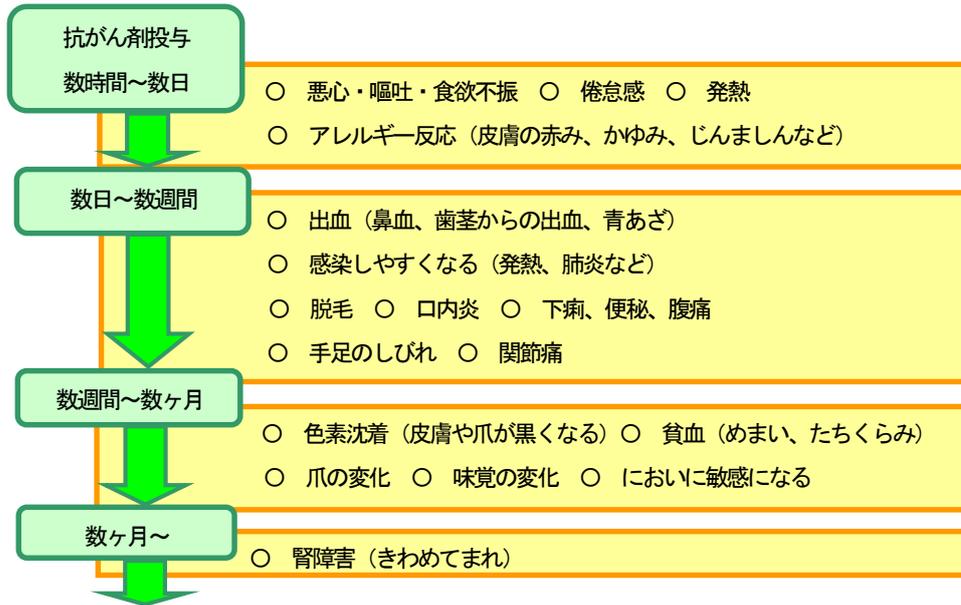
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

◎副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【カルケンス】

[出血] 出血、嘔吐、意識障害、片麻痺、突然の頭痛、視界の中に見づらい部分がある

[感染症] 発熱、体がだるい、咳・痰・息切れ

[間質性肺疾患] 息切れ、息苦しい、咳、発熱

[骨髄抑制] 発熱、喉の痛み、出血傾向、めまい、疲れやすい、息切れ

[不整脈、虚血性心疾患] めまい、動悸、脈が飛ぶ、胸の痛み、冷汗

【ガザイバ】

[インフュージョンリアクション] 呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、さむけ、おう吐、咳、めまい、動悸

[腫瘍崩壊症候群] 意識の低下、考えがまとまらない、判断力の低下、尿量が減る、息苦しい、息切れ

[好中球減少、白血球減少] 発熱、のどの痛み

[血小板減少] 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい

[感染症] かげのような症状、からだがだるい、発熱、おう吐

[B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪] からだがだるい、発熱、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、おう吐、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、判断力の低下、意識がなくなる

[進行性多巣性白質脳症（PML）] 意識がなくなる、しゃべりにくい、物忘れ、手足のまひ、考えがまとまらない、見えにくい

[心障害] めまい、胸がドキドキする、胸の痛み、気を失う、動くときの動悸、冷や汗、胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい、からだがだるい、全身のむくみ、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息切れ

[消化管穿孔] 吐き気、おう吐、激しい腹痛

[間質性肺疾患] 発熱、から咳、息苦しい、息切れ

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。